

市政アンケートに
145人の回答

保育園に子供が入れない
から、働けない(20代女性)

13年目の正社員で給料は月16万円(30代女性)

過労で自宅療養中、金銭的に苦しい(40代男性)

賞金は正社員の半分(50代男性) 糖尿病治療に月1万円以上かかる(50代男)

年金だけでは暮らせない(60代女性) 老後の介護が不安(70代男性)

国保税が高い(70代男性) 身障者だが、何もしてくれない(70代女性)

すべての階層で、生活難・不安！ 悪政への怒り！

昨年10月に日本共産党尾張旭市議団が行った市政アンケートに回答を寄せた人の男女別、職業は

男性	女性	自営	会社員	臨時	年金	無職	他
67	71	12	35	11	73	15	4

「暮らしで困っている問題は？」の回答は

仕事が無い	教育費高い	収入少ない	借金が多い	税金が高い	国保税高い
16	7	42	6	53	75

「子育ての課題は？」の回答は

延長保育	障がい児保育	保育料下げ	待機児解消	中学医無料	学童育充実	教室にエアコン	給食費補助	30人学級	私学助成
48	18	19	46	43	24	21	21	22	18

「市営バス」についての回答(乗車の経験・改善要求は)

ある	ない	日祝運行	時間延長	1時間間隔	ルート変更	その他
56	75	39	28	57	35	4

「高齢者の課題」についての回答は

サークル支援	運動施設	移動手段	外出支援	国保税軽減	医療費軽減	バリアフリー化
29	13	45	27	87	58	31

暮らしはいつそう厳しくなっています

「国保税・介護保険料が高い」という人が75%。「税金が高い」が53%で半分以上の人が社会保険料・税金が高くて困っています。また、「収入が少ない」と答えた人が42%もあります。

「飢えて死ぬというのか」との声も！！

意見を記入する欄からは、身につまされるような生活の実態

が浮かび上がってきます。「節約しても様々なところでお金がかかり貯金もできない」と嘆く若者。「サービス残業で遅くなり、子供と殆んどあえない」と悲しむ30代の女性。

困難は弱者にしわ寄せ、いたるところに悲鳴！

「障害年金しかないのに税金の取立て。食費しか残らない」と怒る40代の男性。「消費が後退、売上減少」に悩む60代の自営業者。「子供に障害がある、入所施設がない。自分は病気で入院することもできない」という60代女性。「スーパーがつぶれ、運転できないので、買い物も

ままならない」という70代男性の高齢者。

民主党政権になっても、暮らしは悪くなるばかり

このアンケートで、“世の中、ここまで来たか”という実態が明らかになってきました。「こんな世の中変えて欲しい」と自公から民主党政権に交代しましたが、期待はずれで、市民の生活は悪くなるばかりです。

「子育て」「高齢者」の要求もたくさん出されています

「子育て」の要求では、「保育時間の延長」「待機児解消」の要求が多くあります。「中学生まで医療費の無料化」の要求も多々ありましたが、この要求は署名運動を進めたこともあり、この要求は、4月から実現することになりました。

「高齢者」の要求では、「国保税など社会保険料の軽減」「医療費窓口負担の軽減」が圧倒的に多くありました。

消費税増税反対、雇用の拡大など 政治的な要求もたくさん出されました

150項目以上の行政・市政への要求が・・・

「印場・旭前駅にエレベーターを」「下水道の整備」「森林公園をもっと使いやすく」「図書館の充実を」など多くの要求が寄せられました。

また、ゴミの収集、犬の糞など身の回りの困りごとが多くあることも明らかになりました。

尾張旭のいいところ＝「宝物」は・・・

「いちじく」「のんびりした雰囲気が好き」「わずかに残っている雑木林・里山風景・氏神様」など。

日本共産党は、皆さんの要求実現のため 全力を挙げて奮闘します

今後も、皆さんの声をお聞きし、市政に反映させていきたいと思っています。ご支援、ご協力をお願いします。

自治体は悪政からの防波堤、日本共産党は住民要求を最優先します